



2019年10月18日

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

### 東京都が発行する「東京グリーンボンド」への投資について

損害保険ジャパン日本興亜株式会社(取締役社長:西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」)は、このたび、東京都が発行する「東京グリーンボンド」への投資を決定しましたのでお知らせします。

#### 1. 概要

グリーンボンドとは、環境事業に要する資金を調達するために発行する債券です。東京グリーンボンドは、国際資本市場協会(ICMA)<sup>※1</sup>が定義するグリーンボンド原則に適合した債券であり、第三者評価機関であるISS-oekom<sup>※2</sup>から認証を取得しています。東京グリーンボンド発行による調達資金は、気候変動への適応、スマートエネルギー都市づくり、生活環境の向上に関連した事業等に充当される予定です。

損保ジャパン日本興亜は、東京グリーンボンドへの投資を通じ、東京都のスマートシティの実現に貢献していきます。また、「お客さまの視点ですべての価値判断を行い、保険を基盤としてさらに幅広い事業活動を通じ、お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供し、社会に貢献する」というグループ経営理念のもと、「社会的責任の遂行」をグループ経営基本方針の一つとしています。今回の投資もその一環として取り組むものであり、本債券への投資を決定したのになります。

#### <本債券の概要>

債券名: 東京グリーンボンド(30年)第3回

発行額: 総額50億円

償還期間: 30年

#### 2. 今後について

損保ジャパン日本興亜は、今後も、適切なリスク管理のもと、運用資産の収益性向上を図るなかで、グリーンボンドなどへの投資を通じた社会的責任の遂行に対応していきます。

以上

<sup>1</sup> ICMA:International Capital Market Association

<sup>2</sup> ISS-oekom:ドイツに拠点を置く第三者評価機関